刀 銘 濃州住千手院道印

法量 刃長 614㎜ 反り 16㎜ 元幅 25.8 (27.1)㎜ 重ね

5. 9 mm

鎬重

6. 6 mm

先幅

1 4.

8 1 5.

2 mm

先重

2.

9 mm

先鎬重

3. 5

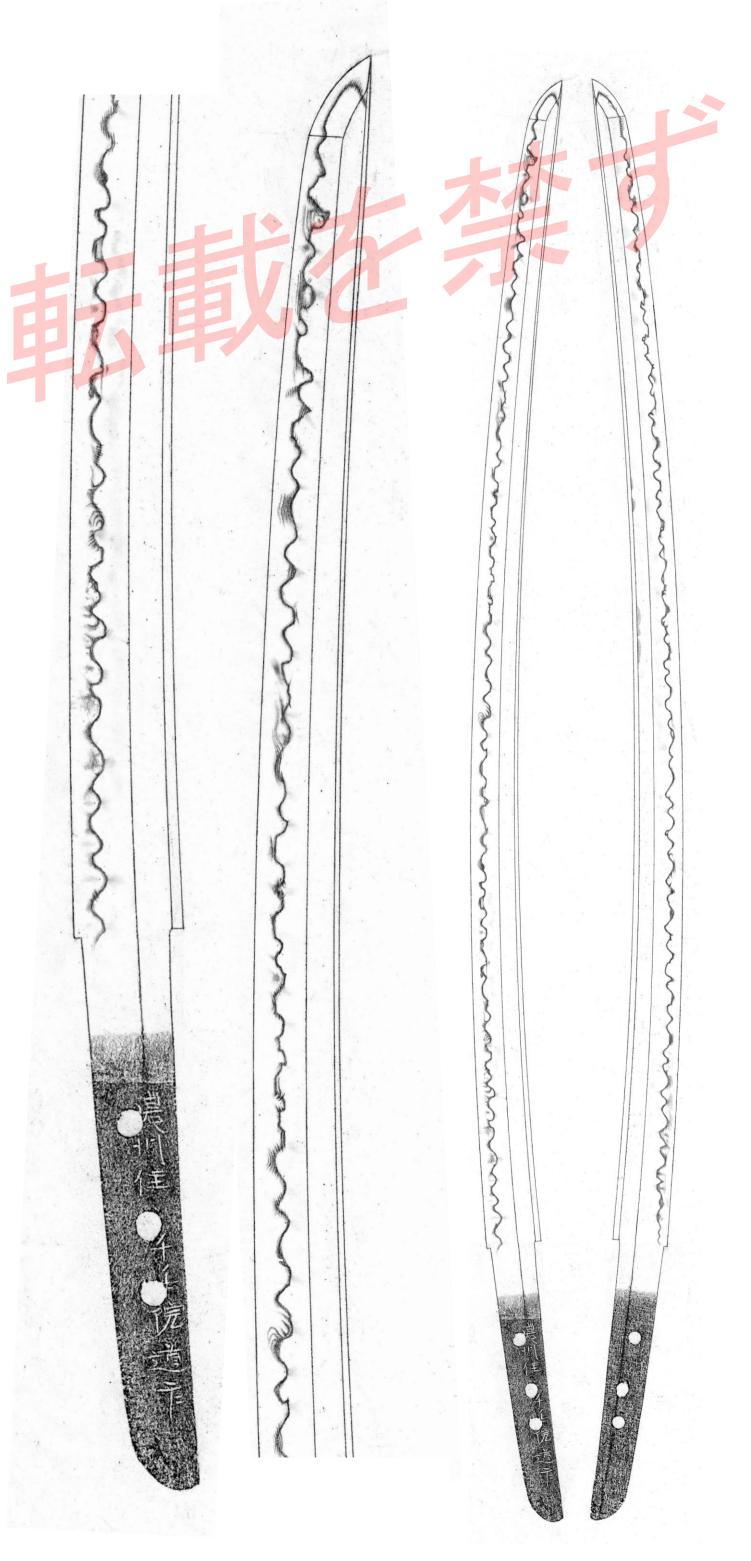
形状 鎬造り、庵棟、身幅狭く、鎬やや高く、先反り。

鍛 板目つんで流れ、太い筋状の異鉄が目立ち、鎬地柾がかり、幽かに映り立つ。

帽子 直ぐに先小丸、掃き掛けて短く返る。

やや深く区を送り、刃方を摺り、反りを撓め、先薬研尻風の刃上り栗尻、 棟小肉、 鑢目表は平地を切、鎬地は大筋違、裏は新鑢で勝手下り。

道印唯一の現存刀である。光山押形所載。



縮小率50%